

1.オープニング ～前回のふりかえり～

第2回の参加者は15名。年末年始にしたいことなどを話した後、今ハマってることを交えて自己紹介をしました。

その後、「自分の好き研究所」と題し、自分の好きなことや得意なことをワークシートに記入。案外自分自身に向き合う時間がなかったことを実感し、話



をすることで、他の人からみえる新たな自分を発見する時間になったようです。

また、自分の好きや得意をまちと結び付け、やってみたいことを考えて、最後にみんなで感じたことや考えたことを分かち合いました。



1月19日(日)開催
第3回の様子をお伝えします♪
(参加者18名)

2.チェックイン ～年末年始のできごと～

今回のお題は、「年末年始のできごと」。第3回に初参加の4名も加え、自己紹介を兼ねて話をしました。内容はさまざま…。調子を崩して、ずっと寝込んでいた方も何名か👉でも、当日は参加していただけて”ホッ!”

また、のんびりと過ごしたという方や、やろうと思っていてできていなかったことに、時間をかけて取り組んだ方など、忙しく過ごされた方も!

3.個人ワーク 「自分の好きや得意をまちに結び付ける」

前回考えたことをもとに、①「自分の好きや得意」をまちの何に活かすか。②挑戦したいこととはじめの一步として取り組むこと。③やってみた結果、まちや自分がどう変わるとよい?その経験を通してやってみたい「夢」を考え、自分物語の「素材」シートに書き込みました。



4.相互コンサルティング 「互いに深め合おう!」

3名のグループをつくり、ワークシートをもとに内容をブラッシュアップしました。夢を実現するにはどうしたらいいか、他の人のアイディアを聞いて、内容を深め合う話し合いを2ターン行いました。対話が盛り上がり、夢もより具体化されていきます。



この夢いいね!
一緒にできるかも



それならうまくいきそう!



それって、こうしたら
もっとおもしろい!



そのアイディアいいですね!



5.シナリオライティング 「物語を仕上げよう！」

まずは、AIが作った夢物語や、講師が以前開催した講座参加者の事例の朗読を聞き、物語創作への導入からスタート。

相互コンサルティングをふまえて、自分の物語を書きました。自然と筆が進む人も、なかなか書けない人も…。どんな物語ができるでしょう。

6.分かち合い 「物語を発表し合おう！」

「いつもの場所（あそこ）」

自分の好きや得意をまちに
結びつける夢・妄想の

「ビッグマウス物語」



「自分物語」

「大口といえば」

18時に仕事が終わって、帰宅。晩御飯とお風呂を済ませたらひま。近所のともだちを誘って夜の散歩。コンビニしか行くところがない。散歩中によさそうな土地を発見！そこで仕事終わりの人が集まれるカフェをたてた！・・・



「みんなのHOME」

「professional」

「光の向くほうへ」

ここは、眠らない駅前。常に光がもれる自動ドア。右は24時間営業のスポーツジム、左は勉強カフェ。昨日は雪だったというのに、ここは熱気であふれている・・・



「まち魅力マップ」

大学生のYはドライブが好きだ。今日も知らない町に来ている。客があまり入っていない中華料理屋を見つけ、入ることにした。料理はどれもおいしく、素晴らしいものだった。こんな素晴らしいお店があることをたくさんの人に知ってもらいたい・・・



個性あふれる、すてきな夢物語の朗読を、目をつぶって想像しながら聞きました・・・

いくつかの物語を、2/8のまちづくり協働フォーラムにて朗読していただけます！

さあ、夢物語の実現を始めよう！

Pickup! ひとことアンケートより

◇気づき・発見

- ・自分が辛かったこと、苦しかったことを人を助ける力に変える「優しさ」に感動しました。私もその優しさのパワーをもらったので生かしたいです！
- ・自分の「好き」から物語が広がるとは思ってなかったので新たな発見があった。
- ・物語をつくること、自分の話をする、伝え方、こんなに上手な人がたくさんいるんだと圧倒された。
- ・多くの人々が大口町について取組みたいことがあり、集まってそれが知れたことが何よりもうれしいです。

◇その他なんでも

- ・今年はツタヤがNHKの大河のテーマらしいので、何か新しい場所をつくることが実現できたらいいなと思います。
- ・このような機会がもっとあれば救われる人もいます。活動がんばってほしいのと、将来的に自分もお手伝いしたいです。
- ・「夢はなんですか？」と聞かれても答えにくいことを、いろんなアプローチで時間をかければ大人でもこんなに答えられるんだと驚いた。